

2024年2月17日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

|            |                                                                    |
|------------|--------------------------------------------------------------------|
| 福祉サービスの種別  | 保 育                                                                |
| 事業所名       | せんだん保育園                                                            |
| 代表者氏名（管理者） | 園 長 中西 健                                                           |
| 法人名        | 社会福祉法人 せんだん二葉会                                                     |
| 定員（利用人数）   | 140名（161名）                                                         |
| 施設・事業所所在地  | 〒520-0248<br>滋賀県大津市仰木の里東二丁目2-5                                     |
| T E L      | 077-573-2828                                                       |
| F A X      | 077-574-3311                                                       |
| 電子メール      | <a href="mailto:info@sendan-futaba.com">info@sendan-futaba.com</a> |

2 第三者評価機関

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 第三者評価機関名 | ニッポン・アクティブライフ・クラブ<br>ナルク滋賀福祉調査センター |
| 評価実施期間   | 2024年1月24日と1月26日                   |

## ● 総合評価

社会福祉法人せんだん二葉会は、2001年4月1日に滋賀県から事業者指定を受け、せんだん保育園がスタートした。設立後の10年経過を機に地域からの知見者の協力を得て、当職員とともに構想を練り、作成されたのが、下記の基本理念・保育目標である。従来のビジョンを基にさらに飛躍し・結果をみえる化する事に今年度からチャレンジしようとするものとなっている。

基本理念に「せんだんはだんらん」「つながり、憩い、育ちあう家」としての基本理念を掲げ、せんだんで団らんでできるような、くつろぐことができるそんな保育園になれたらという園長の意気込みがある。

「一、私たちは、子ども一人ひとりの存在を認め、丁寧に関わり、自立し、その子らしく生きる支援をします。」

「一、私たちは、お父さんお母さんの応援団です。」

「一、私たちは、憩う場を提供し、人とのつながりを築く窓口になります。」

「一、私たちは、日々研鑽し、互いに高め合い、子どもとの育ち会いを通して、感性豊かな人間になります。」

### 保育目標

- ① 「感謝するところ」を育て「自分のことは自分で行える」力を養います。
- ② 積極的に遊びや活動を行うよう促し、自主協調の社会的態度を養います
- ③ 表現活動を通して豊かな情操を養い、思考の基礎と道徳性の芽生えを培います。
- ④ 音体教育（音楽・体操）をおこない、集中力、忍耐力、意欲的に物事に取り組む態度を養います。
- ⑤ たたずまい教育をおこない、集団生活に必要な約束事を身に着けます。

### 保育方針

- ・ しつけと音体教育を通して、一人ひとりを大切にメリハリのある保育
- ・ 保育所保育指針をふまえ、常に子ども達が安心を持って活動でき、一人ひとりの「心と身体」の能力を健全で調和のとれた姿に育成する
- ・ 「養護と教育」が一体となって豊かな人間性を持った子どもに育成するところに、保育園における保育の基本がある

以上の基本理念・保育目標・保育方針を基にクラス毎のチームを編成し、各チームが検討したプランを実施しその過程で評価チェックし補強するか前進するかを決定し、目標達成に進めている。仲間の一人ひとりの良い点を発揮することでチーム力を引き上げていこうとしている。その結果が園児や保護者の信頼を得る事と信じて前進している。

戸建ての静かな住宅地の中に設置された自然環境に恵まれた3か所の公園は、身近な野外

・保育活動の場として子どもたちの好奇心をはぐくんでいる。園から「徒歩3分の所にある夢公園には大きなローラー滑り台」「4～5歳児のマラソン大会の実施や四葉のクローバー探しに夢中になれる仰木東公園（園から5分）」「0～1歳児が芝生の斜面滑りを楽しみ琵琶湖も見えるかざみ公園（園から5分）」等地域の自然環境にも恵まれた保育園である。

## ○ 特に評価の高い点

### 1, 食育への取り組みについて

全体計画の中に食育の推進についての取り組みが位置づけられ、月別・クラス別に明記した具体的な『食育の目標』を作成している。家庭的で彩りも考慮してある給食は子ども達が楽しみにしている給食で保護者からも高評価を得ている調理内容である。調理スタッフのチームワークの良さが調理や彩の一工夫につながっている。また、食事アンケートを実施し、家庭での食生活の様子を把握し食育指導に繋げている。今年度より、『味の教室』を年2回実施し、目で見て・さわって・匂いを嗅いで・音を聞いて味わう五感体験を取り入れ、食育教育の幅を広げている。

### 2, 生活発表会について

5歳児にとって最後になる生活発表会には、おじいちゃん・おばあちゃんを含めた保護者の家族を中心に、自治会長・民生児童委員・小学校校長・理事3名の方々を招き盛大に実施された。本園伝統の和太鼓は、身体を使いながらリズムカルな動きを交え太鼓の響きはもちろんであるが、子どもたちの表情にも自信あふれる様子が伝わり、参加者に大きな感動を与えていた。本園のメリハリのある保育を見事に実現させている。

### 3, 地域の子育て支援

#### A, 親子の未来塾

平成19年に開設し、今年度の4月から12月の期間に延べ人数として大人2269人・子ども2458人の利用があり、地域に浸透している子育て支援の場となっている。

専門の保育士が常時勤務し、月曜日から金曜日まで開設している。（水曜日は赤ちゃんを対象）

予約なしで登園できるが、ママヨガ・あおぞら未来塾・お楽しみ会・親子でランチ・体操教室・おたのしみ会・お誕生会等は事前予約が必要になる。

保護者同士のつながりの広がり、悩みの相談等、保育士はもちろん、先輩の保護者からのアドバイスも受けられ、信頼できる子育て支援の場となっている

#### B, 一時預かり

一時預かり用の教室を1室設け、事前申し込み前提で終日の預かりを実行しているが、年間3～4件は緊急支援のお願いがあり、急遽対応することも有る。昨年度の利用者数は2751名・今年度は1月末集計では2441名の利用者が有り、地域貢献を果たしている。

#### 4、保護者アンケートの結果について

保護者アンケートの実施及びその集計結果は、160部配布し150部回収することとなった回収率94%という数字は、当調査機関始まって以来の高い回収率となった。23項目にわたる質問を行って上で24と25の下記質問については、

①お子さんが喜んで保育園に行きますか？の回答は89%

②保育園の総合満足度は？に対する満足しているとの回答率は95%

と回答をしている。(保護者アンケート表参照)

以上のデータは、保護者と園の信頼関係が強固であることを示している。

#### ○ 改善を求められる点

1、保護者アンケートの中での苦情解決のしくみについて

25項目質問の中で3番目にある本項目だけが、満足61名、不満足22名、わからない67名が数字上の結果として把握できた。「満足」より「わからない」の数が多いのは、説明と信頼度が高まれば解決するもので、是非チーム力を発揮してほしい局面であり、一步前進を期待したい。

あえてもう一つアンケート上で不可解のある項目が6番目の「乳児突然死症候群についての説明と防止への取組」について、判らない方が50名おられることである。

実際面での内容を見ると0歳児18名の内17名がアンケート提出し、「満足」している14名、「不満足」1名「わからない」2名となっている。

此処ではルクミーという装置を使用し、児童の胸にそのセットを付けておくとうつ伏せに寝た場合は即刻担当保育士の手元にあるタブレットにアラームが鳴り即刻現場に行くシステムである。5分毎のチェックを充実させ万全を期していることを、この機会に保護者全員に具体的に説明する機会を持たれることを期待する。

#### 4、第三者評価結果に対する事業者のコメント

第1回目の受診から8年ぶりの第三者評価受診で、緊張感を持って受診できた。この8年で20名程の職員が入れ替わっており、組織としてのノウハウは積みあがってきているものの一つひとつを徹底することの難しさを感じている。出生数の急減により10年後の状況が見通せないが、一つひとつ課題を明確にし全職員で共有していきたい。またキャリアパスを徹底し保育の専門家集団を目指し、地域から安心と信頼が得られる保育園になりたいと思う。

